

### 総務分野

#### 市職員の定期人事異動

去る4月1日、昇任者62名、異動者94名、派遣者など15名、合計171名に定期人事異動の発令を行い、23名の新入職員を採用しました。職員の能力などを踏まえ、一人一人が能力を発揮できるよう適材適所の人事配置を行いました。

### 資源循環分野

#### ごみ排出量、リサイクル率（1面参照）

「1人1日当たりのごみ排出量」の少なさ、「リサイクル率」の高さがともに全国第8位という結果を得ることができました。この結果は、市民の皆さまの日常的な取り組み等が実を結んだものであり感謝申し上げます。

### 健康福祉分野

#### 東村山市立社会福祉センター再編

社会福祉センター条例に基づく「高齢者並びに心身障害者等の福祉を増進させ、生活の向上を図る」ための施設であることを主眼に、健康寿命の延伸や就労支援等の福祉課題の解決のため、庁内で議論を進めています。今後、保健福祉協議会委員などの有識者で構成される「事業内容検討会」を設置し、専門的見地からご意見をいただきながら具体的な内容を検討していきます。

### 環境・安全分野

#### 災害時協定

去る3月30日に西武鉄道株式会社と災害時における西武園ゆうえんちの利用について支援協定を締結し、当園の大型駐車場の利用による車での避難場所の確保や飲料水の提供などの支援が受けられることとなりました。

また、ご縁あって山形県長井市から災害時の相互応援について関係構築の申し出を受けたため、早期に協定を締結できるよう調整を進めています。

#### 東村山市空家等対策計画の策定

平成29年3月に東村山市空家等対策計画基本方針を決定しました。今年度は同方針に基づき東村山市空家等対策計画を策定し、空き家等に関する対策を実施したいと考えています。なお、新たな取り組みとして、29年5月に発送した固定資産税・都市計画税納税通知書、約4万7千通に、空き家に関する啓発チラシを同封し、空き家の適切な管理等の周知を図りました。

### 子育て分野

#### 保育所の待機児童の状況

平成28年度当初76名だった待機児童数は、新たな国の方針に基づき算定方法を行った結果、平成29年度当初は64名となりました。今後は待機児童の地域的傾向、指数傾向、保育所選択理由などの情報を収集・分析し、既存の子育て資源の性質を考慮しながら検討や施策を実施し、待機児童の解消に努めます。

#### 公立保育所の民間移管

第二・第六保育園の民間移管後の新しい園の運営予定事業者の公募を2月15日に終了し、現在は応募事業者からの提案内容について、対象園の保護者を含む委員による事業者選定会議で、具体的な選定作業を進めています。2園とも平成31年4月の移管を目指し、必要な取り組みを推進していきます。

「児童虐待の未然防止と早期発見に向けた情報共有等に関する協定」の締結  
東村山警察署と子ども家庭支援センターは、さらなる児童虐待の未然防止と早期発見を図ることを目的に、協定を締結しました。（3面参照）

### 教育分野

#### 不登校対策の充実

希望学級においては東京都の補助金事業である「教育センターの機能強化モデル事業」を活用し、施設や教材・教具の整備・充実を図るとともに、他者との関わりや外出が苦手な希望学級にもつながりにくい児童・生徒を対象に「希望学級分室」を月2回程度開設し、子ども相談員や児童・生徒と年齢の近い指導補助員が、話し相手や遊び相手になり学習の支援を行います。これにより通級や学校復帰、進学への意欲につなげていきたいと考えています。

また、保護者の懇談や講演会等を実施し、保護者の不安軽減や理解促進につなげていきたいと考えています。

#### 就学援助における入学準備金の増額

要保護者への援助に対する国の「要保護児童生徒援助費補助金」の改正に伴い、「新入学児童生徒学用品費等」の補助単価が、一人当たり小学校が2万470円から4万600円に、中学校が2万3千550円から4万7千400円に引き上げられました。これにあわせ、当市も入学準備金を増額支給することで、援助が必要な児童・生徒の保護者に対して、適切な支援をしたいと考えています。

## 平成29年市議会6月定例会 市長所信表明（要旨）

企画政策課

5月23日から開かれている市議会6月定例会の初日に行われた、渡部尚市長の所信表明の内容です。全文は市ホームページの「市長のページ」から、動画は「市議会録画配信」でご覧ください。

### はじめに

○職員による公務外での非行や勤務中の部下に対する不適切な指導、また、市補助金の精算過程における不適正事務処理など、3件の非違行為が確認できたため懲戒処分および措置を行いました。関係者の方々、市民の皆さま、議員各位へ、衷心よりお詫びを申し上げます。管理監督責任を明確にするため、私と副市長の給料月額を減給する条例案を本定例会の当初議案へ提出いたしました。あらためて公務員としての自覚を強く促し、再発防止に向け綱紀粛正の徹底に取り組んでまいります。

○去る4月1日、小池都知事が多磨全生園と秋津療育園を訪問し、多磨全生園では納骨堂で献花をされた後、この地で亡くなられ未だに故郷に帰ることのできない2,600柱を越える御霊を慰霊されました。その後、多磨全生園入所者自治会の執行役員の皆さまと面会、懇談され、小池都知事は記者団に対し、「差別を繰り返さないことが大切だと改めて思った。人権という観点から差別の解消に努めていきたい」と述べられました。私からは引き続き、多磨全生園の「人権の森」構想の実現に向けての東京都の協力をお願いいたしました。○2月の第193回国会において、宮本徹衆議院議員が東村山市の生活困窮者自立支援施策が不適切に行われていると発言されました。しかし、挙げられた事例は当市に該当するものはなく、かろうじて類推される事案とも著しい隔たりがあり、事実確認のため市は2度にわたり質問状を送付しましたが、回答がありません。その後3月に国が調査のため当市を訪問しましたが、当市の対応に問題があったとの指摘はありませんでした。宮本議員の国会での発言は職員や委託業者の名誉と士気に多大な影響をもたらすとともに、当市の信用にもかかわるもので、看過できません。宮本議員には説明責任を果たすよう強く求めるなど、しかるべき対応を検討してまいります。

### 経営・政策分野

#### 平成28年度の決算見込み（4面参照）

財政調整基金約7億9千万円を繰り入れたうえで、一般会計の実質収支は黒字に、特別会計も黒字となる見込みです。引き続き、まちづくりのための投資と着実な行政運営の両立を可能とする財政基盤の構築に努めます。

#### 包括施設管理委託

平成29年度中の契約締結を目指し、当市では初めて「公募型ヒアリング調査」いわゆる「サウンディング」を5月中旬に実施し、10社の民間事業者からご意見などをいただきました。今後は、このご意見をもとにプロポーザル実施に向けた準備を進めます。

### 都市整備分野

#### 市道第81号線1鷹の道の道路拡幅

鷹の道は、これまで歩行者の安全確保を主な目的に、府中街道の郵便局交差点からころころの森交差点までの区間で道路拡幅の検討を進めてきました。今後は近隣の皆さまを対象に事業の説明を行い測量作業を進め、関係権利者の皆さまにご理解をいただきながら、道路整備を進めたいと考えています。

#### 東村山駅部の東西通路

市民の皆さまや議会からもご意見をいただいている、駅周辺部における東西を結ぶ24時間通行可能ななるべく広い通路の整備について、西武鉄道へ強くお願いしました。整備内容などが具体的となるには、ある程度長い時間を要すると想定されますが、市民だけでなく駅利用者や西武鉄道にとってプラスになるような、にぎわいが生まれる空間の創出に向けて取り組みます。

#### コミュニティバス事業

平成28年9月1日より実証運行を開始した「富士見町を経由して東村山駅西口と久米川駅南口を結ぶ」路線は、2月28日までの半年間で2万301人のご利用をいただき、収支率は42.43%でした。この実績を受け、地域公共交通会議の中で、平成29年9月1日からの本格運行への合意がなされました。また、多摩湖町地域の公共交通空白・不便地域の解消については、地域の皆さまとさまざまな可能性について協議し、東村山市域への所沢市のコミュニティバス乗り入れについて所沢市と協議を進めることで合意がなされたことから、広域連携に向けた具体的な協議を開始しました。今後は、広域連携の提案路線沿線住民の皆さまを対象とした需要調査を行い、他市との広域連携について地域内完結型運行との均衡性をいかに図るかなど、ガイドラインに定められていない要件等の課題を整理し、議会や地域公共交通会議からのご意見をいただきながら取り組んでいきます。